

法制審議会民法(相続関係)部会第18回会議提出資料

# 可分債権の取扱い(相続預金)等に関する意見③

平成29年2月28日

三井住友銀行 法務部  
浅田 隆

# 相続預金の取扱いに関する明文化の必要性

(部会資料18「2 可分債権等の遺産分割における取扱い」について)

## 経緯

- 相続における相続人間の公平を実現する観点から、甲案・乙案を検討してきた経緯。
- 審議を通じ、公平性を円滑に実現するための各種方策についても明確化。  
＝実体的な法律関係、分割手続における権利関係を明確化し、円滑な分割を実現。

## 最高裁決定

- H28/12/19付最高裁決定は、結論において乙案と同じ(＝乙案の方向性を認めるもの)。
- (裁判の仕組みから仕方ないものの)遺産分割対象である/単独行使できないという結論は明瞭である一方、実務運用面においては、不分明なところも多い(鬼丸補足意見等参照)。

## 明文化の必要性

- 最高裁決定を受けた実務上の課題(次葉参照)により、“公平性の円滑な実現”が達成されるまでには相応の時間が掛かるのではないか。
- これまで審議の検討を活かし、例えば、乙案をベースに最高裁決定を踏まえつつ明文化を図ることで、“公平性の円滑な実現”が可能に。

# 最高裁決定と実務上の課題

- 最高裁決定後の公刊物等において不分明とされる論点をもとに記載。  
(これ以外の論点、実務上の課題が出てくることも想定されよう)

	不分明な論点	実務上の課題	「2」の乙案を用いた手当(案)
1	預金債権の位置付け 一準共有か可分債権か	①相殺可能か ②差押可能か、その対象は ③差押後の遺産分割は	✓ 相殺が可能なことを明記 ✓ 差押可能な方法を明記
2	相続開始後入金分の取扱い	①遺産分割における預金残高 ②逆に出勤がなされたときは	✓ 遺産分割時で具体的相続分を判断
3	葬儀費用等の払戻し	①仮分割の仮処分の実効性 ②仮処分では間に合わない緊急の資金需要 ③仮処分と遺産分割の関係	✓ 仮分割の仮処分の拡充 ✓ 仮払制度創設 ✓ 仮払いに係る効果(免責等)の明記
4	最高裁決定の射程	①定期預金の取扱い	✓ 「預金債権」についての規律と明記